



国名勝「袋田の滝」

袋田の滝は、日本三名瀑のひとつに数えられ、高さ120m、幅73mの大きさを誇ります。滝の流れが大岩壁を四段に落ちることから別名「四度の滝」とも呼ばれ、また一説には、その昔、西行法師がこの地を訪れた際、「この滝は四季に一度ずつ来てみなければ真の風趣は味わえない。」と絶賛したからとも伝えられています。昔からこの滝には多くの文人墨客が訪れ、それぞれに和歌や俳句、漢詩を残しています。

そして、今でも新緑の春、涼を味わう夏、艶やかな紅葉の秋、厳しい寒さに凍りついた氷瀑の冬など、四季を通じて多くの方々がこの滝から感じる何かを求めて訪れます。

袋田の滝には、流れ落ちる水の激しさを滝つぼ間近で見る観瀑台に加え、平成20年、周囲の山々の中を流れ落ちる全景を滝の高さ近くから眺望する観瀑台が誕生し、さらに多くの観光客の皆様に奥久慈の大自然と袋田の滝の素晴らしさをご覧いただけるようになりました。

画 松浦 峰水

しつかりと見ておけと瀧凍りけり

今瀬 剛一

第39回 全国氷瀑俳句大会 茨城県知事賞

どの向きの水も捉へて瀧凍つる

平野 悦子



国名勝「袋田の滝」

第40回 全国氷瀑俳句大会

あなたの心の世界を俳句にこめて

主催 / 全国氷瀑俳句大会実行委員会

後援 / 大子町 大子町教育委員会 大子町観光協会 奥久慈俳句連盟

